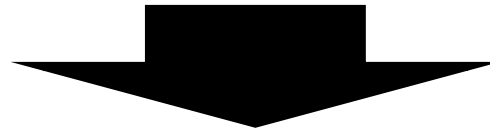


都道府県別診療科ごとの将来必要な 医師数の見通しについて

診療科ごとの将来必要な医師数の見通しについて(案)

- 前回の事務局整理案は、医師の働き方改革に関する議論を踏まえ、マクロの需要推計※1に沿って、週の勤務時間を60時間に制限した場合の、平均的な勤務時間の医師を「1人」として必要医師数を算出したものであるが、診療科によっては、2016年時点で必要医師数が現在の医師数を下回るのは妥当性を欠くのではないか等の意見があった。



(今回の整理(案))

- 勤務時間制限を見込んだ勤務時間の調整等について、医師の働き方改革に関する議論を踏まえ、各診療科において、週の勤務時間を60時間に制限した場合の、男女比や年齢(医籍登録後年数)分布を加味した診療科別の平均的な勤務時間の医師を「1人」として必要医師数を算出※1してはどうか。

※1 医師の働き方改革に関する議論を踏まえ、医師の勤務時間を週60時間に制限する等の仮定をおくケース2を用いて調整。

※2 週60時間を超える医師の勤務時間を週60時間に制限した場合について、「勤務時間削減後の仕事量(勤務時間×人数) ÷ 勤務時間削減前の仕事量」(勤務時間削減後の仕事率)を算出し、この逆数を2016年の医師数に掛け合わせることで必要医師数を算出することを想定。